

研究課題：小児における口腔・咽頭杓創の臨床的検討

1. **研究の目的：**棒状物による口腔・咽頭の損傷は時に重症となりますが、救急外来では診断・治療に苦慮することが多々あります。当研究では、患者様の診療録をもとに、適切な診療について検討します。
2. **研究の方法：**平成 29 年 1 月 1 日から令和 6 年 6 月 30 日までに当院救急外来を受診した患者様のうち、棒状物で口腔内や咽頭をけがされた方を対象とし、診療録から情報を収集します。
3. **研究期間：**令和 6 年 7 月（倫理委員会で承認を得られた日）から令和 8 年 3 月 31 日までを予定しています。
4. **研究に用いる資料・情報の種類：**診療録より情報を収集します。
5. **外部への資料・情報の提供、研究成果の公表：**
当研究において外部へ資料および情報を提供することはありません。研究成果は学会へ報告します。
6. **研究組織**
研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 小児医療センター
研究責任者：救急診療科 植田育也
研究分担者：集中治療科 新津健裕
集中治療科 細谷通靖
函館五稜郭病院 救急科 江濱 由松

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先：

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、令和 7 年 1 月 31 日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）